

3. 心身の状態について

(1-A) 日常生活の状態について（当てはまるものひとつに✓をお願いします）

- からだの不自由さはない。
- J1 電車・バスを利用して一人で外出できる。
- J2 となり近所へなら一人で外出できる。
- A1 日中はベッド・布団から出て生活し、誰かと一緒にあれば外出できる。
- A2 日中も寝たきりの生活で、ほとんど外出しない。
- B1 家の中でも介助が必要だが、自分で車いすに乗り、食事、排泄(はいせつ)はベッドから離れて行う。
- B2 家の中でも介助が必要で、車いすに移動するときも誰かの手助けが必要。
- C1 一日中ベッド上で過ごすが、自分の力で寝返りができる。
- C2 一日中ベッド上で過ごし、誰かの手助けで寝返りを行う。

(1-B) 物忘れの程度について（当てはまるものひとつに✓をお願いします）

- 物忘れはない。
- I 少し物忘れはあるが、日常生活はほぼ自立している。
- II a 道に迷う、買い物や金銭の管理ができない等あるが、誰かが注意していれば生活できる。
- II b 薬の管理、電話の受け答えや留守番は一人でできないが、誰かが注意していれば生活できる。
- III 着替え・食事・排便・排尿が上手にできない、徘徊(はいかい)、大声をあげる、火の不始末、不潔行為などが、(a 日中・ b 夜間)を中心に見られ、日常生活に支障があり、介護が必要である。
- IV 日中も夜間も頻繁に上記のような症状・行動が見られ、常に介護が必要である。
- V 専門的医療を必要とする著しい精神症状や困った行動、重い身体疾患が見られる。

(2) 理解や記憶について

●つい先ほどのことを忘れてしまうことはあるか はい いいえ

●日常生活で、物事を自分で決める(判断する)ことができるか

- 自立（自分で決めることができる） いくらか困難（毎日の日課以外は多少の困難がある）
- 見守りが必要（毎日の日課にも見守りが必要）
- 判断できない（自分で決めることがほとんどできない）

●自分の意志をきちんと伝えられるか

- 伝えられる いくらか困難（だいたい伝えられるが多少の困難がある）
- 具体的要求に限られる（時々伝えられるが、飲食や排泄など基本的なことに限られる）
- 伝えられない

4. 生活機能とサービスについて

(1) 移動について

●屋外

歩行できる 介助があればできる 歩行できない

●車いす

使用していない 自分で操作して使用できる 使用していて介助がいる

●歩行補助具（杖、歩行器、シルバーカーなど）や装具

使用していない 屋外で使用している 屋内で使用している

(2) 栄養・食生活について

●食事 自分でできる なんとか自分でできる 自分でできない

●栄養状態 良好 不良

●入れ歯 使用している 使用していない

●歯みがき 自分でできる 自分でできない

(3) 現在または今後発生の可能性の高い状態について

- 尿失禁 転倒・骨折 移動能力の低下 床ずれ
- 心肺機能の低下（むくみ、息切れ、動悸、立ちくらみなど） 閉じこもり
- 意欲低下 徘徊(はいかい) 栄養不良 食べ物がうまく飲み込めない
- 脱水（体の水分や塩分が失われる） 感染症にかかりやすい
- がん等によるひどい痛み その他（)

5. その他

●その他、介護をしていて困ったり、主治医に伝えておきたいことがあればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。